

建設技術研究開発助成制度

(基礎・応用研究開発公募)

(実用化研究開発公募)

研究課題の応募

公募対象

1. 基礎・応用研究開発公募

基礎研究及び応用研究段階で、研究成果が実用化研究に結びつく可能性が高く、将来、実社会での活用が可能となった場合の波及効果が大きな研究開発課題が対象です。

2. 実用化研究開発公募

地域のニーズ等に応じた実用化段階の技術研究開発のテーマについて、地域の産学官連携等による研究開発課題が対象です。

※ 2つの公募を同時に募集します。同じ研究内容で2つの公募に応募できません。

公募の区分

単年度 10,000 千円以上、総額 50,000 千円までの課題と、

単年度 10,000 千円未満、総額 20,000 千円までの課題に区分して審査・採択します。

応募資格

- 大学等の研究機関の研究者
- 研究を目的とする公益法人または所属する研究者
- 国土交通大臣が適当と認める法人または所属する研究者

※ 民間の研究機関等または当該法人に所属する研究者も、「国土交通大臣が適当と認める法人」として申請が可能です。なお、この場合、採択候補課題の審査と併せて、研究開発課題を実施する法人等の実績、体制等を評価して、最終的に応募者としての資格を判断します。

応募方法

応募の詳しい手続きを示した「建設技術研究開発助成制度募集要領」を、下記の国土交通省ホームページからダウンロードして、応募書類を提出してください。

提出期限：平成19年2月28日(水) (当日消印有効)

提出先：〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術研究助成制度提案公募係

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/13/130130_.html

※ 建設技術研究開発助成制度の過去の採択課題、研究成果の概要等は、以下のホームページでご覧いただけます。
<http://www.mlit.go.jp/tec/gijutu/kaihatu/josei.html>

建設技術研究開発助成制度 平成 19 年度公募テーマ

基礎・応用研究開発公募テーマ

- | | |
|---------------------------------------|---|
| (テーマ 1) 自助・共助による災害被害の防止・軽減 | (テーマ 11) 点検による発見から自動計測による発信など維持管理の高度化 |
| (テーマ 2) 国土・都市の機能喪失の防止 | (テーマ 12) 長期的な機能保持とライフサイクルコストの低減 |
| (テーマ 3) 交通システムの安全水準の向上 | (テーマ 13) 安全かつ効率的な社会資本等の再構築 |
| (テーマ 4) 建造物等の脆弱性の把握・評価 | (テーマ 14) 国土の将来の姿の予測・適応 |
| (テーマ 5) 社会変化に適応した都市構造の再構築 | (テーマ 15) 住宅の低コストな省エネルギー化 |
| (テーマ 6) ヒートアイランド問題の解消 | (テーマ 16) 省エネルギー型の都市の構築 |
| (テーマ 7) あらゆる人が自分の意志で自由・安全に移動できる環境づくり | (テーマ 17) 真の循環型社会の構築 |
| (テーマ 8) あらゆる場所で、あらゆる人の多様な活動を支援する基盤づくり | (テーマ 18) 水循環・物質循環の総合マネジメント |
| (テーマ 9) 快適で安全な生活空間の形成 | (テーマ 19) 健全な生態系の保全・形成 |
| (テーマ 10) 地域における安全で移動しやすい交通システムの構築 | (テーマ 20) テーマ1～19に該当しないがイノベーションを創出する研究開発 |

実用化研究開発公募課題テーマ

- (設定分野1) 地震・津波・噴火・風水害・土砂災害等による被害の防止・軽減のうち、地域の防災・減災のための研究開発
- (設定分野2) 社会資本・建築物の維持・更新を最適化するための研究開発
- (設定分野3) 省資源で廃棄物の少ない循環型社会の構築、健全な水循環と生態系の保全のための研究開発のうち、自然環境などを活かし資源に転換するための研究開発
- (設定分野4) その他、地域の課題解決のための研究開発

(参考) 建設技術研究開発助成制度 平成 16、17 終了課題

[平成 16 年度終了課題]

- ・建築インフィルの静脈ロジスティックス支援ツールの開発
- ・環境ホルモンの無害化と暴露量削減に関する研究開発
- ・環境修復機能の高い人工干潟設計システム開発に関する研究
- ・強震観測網を用いた都市構造物群の耐震改修戦略システムの開発
- ・高解像度大気汚染モデルによる道路交通政策評価システムの構築
- ・リアルタイム崖崩壊予測システムに関する研究開発
- ・まちづくりシミュレーションによる市民合意形成システムの開発

[平成 17 年度終了課題]

- ・交通エコポイントシステムに関する研究開発
- ・エネルギー自律型都市代謝システムの開発を通じた生活環境の改善
- ・巡回車による舗装・伸縮装置の高頻度簡易診断に関する研究開発